

平成 31 年 4 月 19 日

平成 30 年度 地域貢献活動支援報告書

地域イノベーション推進機構長 殿

所 属 工学研究科建築学専攻
氏 名 浅野 聡

活動テーマ	「伊勢河崎商人館」における展示計画を通じた景観まちづくり活動の推進
実施期間	平成 30 年 6 月 4 日 ～ 平成 31 年 3 月 24 日
活動内容	(1) 具体的な活動実施内容 本プロジェクトは、平成 28 年度から平成 30 年度にかけての 3 年間をプロジェクト期間として、伊勢河崎商人館（伊勢市）における新しい展示計画に取り組んだものですが、最終年度も全体的に実施計画書の通りに活動を実施することが出来ました。具体的な活動は、以下の通りです。制作した町並みリーフレットも提出しますので、ご覧頂ければ幸いです。 ①「町並みパネル：第三幕」の制作 町並みパネルの構成は、河崎地区のまちづくりの「過去」、「現在」、「将来」の三部構成としており、それぞれ第一幕、第二幕、第三幕として制作しています。平成 29 年度は、「第一幕・第二幕（A0 サイズ 1 枚・A1 サイズ 7 枚）」を制作しましたが、平成 30 年度は、河崎地区のまちづくりの将来像を描く「町並みパネル：第三幕」（A1 サイズ 1 枚）を制作しました。（図 1） ②町並みパネルの展示 共同実施者である NPO 法人伊勢河崎まちづくり衆の協力を得て、制作した町並み再パネルを現地に搬入し、伊勢河崎商人館において展示を行いました。展示は常設展示としています。<u>平成 28 年度に制作した「伊勢河崎町並み再現模型」、「伊勢河崎町並み再現模型解説パネル」と一体化した展示</u>になるように配慮しています。（写真 1） ③町並みリーフレットの制作 平成 28 年度から 30 年度にかけて制作した一連の展示作品の全体を解説するリーフレット（A4 サイズ）を制作しました。展示作品の全体像が入館者に理解できるように配慮してデザインしています。（図 2、3）



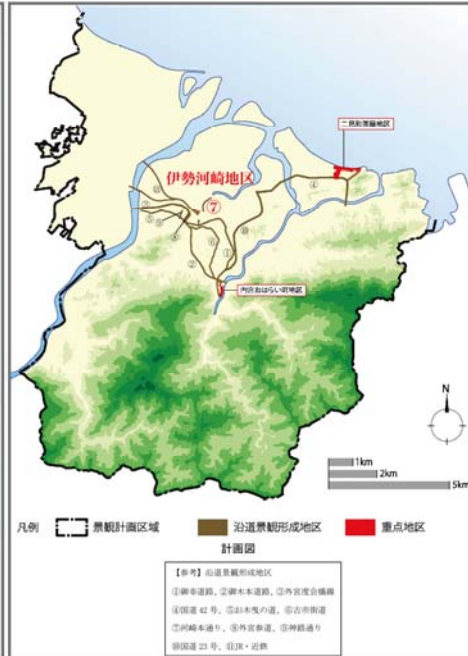
第一場 伊勢河崎のこれから

伊勢河崎「新・蔵くら談義XIV」
町並み保全型まちづくりと地域創生
守る×活かす×育てる×創る×繋ぐ

日時 平成30年3月18日(日) 13:30～17:00
場所 伊勢河崎商人館 角倉座

内容
研究報告 「伊勢河崎・まちづくりの展開」 展示パネルリニューアル事業
基調講演 テーマ「全国の歴史的町並み保存とまちづくりの動向」
講師 山本玲子 (三重大学大学院工学研究科 浅野研究室)
各地の報告 東海連関 松阪・二見浦 伊勢河崎
蔵くら談義 「三重の町並み保全型まちづくりと地域創生」(第2回)
コーディネーター 浅野 聡
コメンテーター 山本玲子
パネリスト 中西典典、中野 聡、山本玲子、浅野 聡、山本玲子、浅野 聡

参加費 70名(先着)
資料(冊子) 個人入場料 300円(税込)



■第14回「新・蔵くら談義」開催

2018(平成30)年3月18日に伊勢河崎商人館にて、第14回「新・蔵くら談義」が開催され、今後の伊勢河崎のまちづくりについて話し合われました。また、今回制作したパネル群についても発表しました。

■伊勢市景観計画上での伊勢河崎の位置づけ

2013(平成25)年1月30日に改定された伊勢市景観計画上での伊勢河崎は沿道景観形成地区に位置づけられています。伊勢河崎はこれから新たなまちづくりのステップへ進む予定です。

伊勢河崎----- 展示パネルの名称

伊勢河崎は川とともに発展してきました。そこで、勢田川の「川」という文字の3つの線を伊勢河崎の特徴を表す「地道」、「建物」、「川」のそれぞれの色で表現しました。浅野研究室では、伊勢河崎商人館の開館時から、伊勢河崎まちづくりについて解説する展示パネルを「伊勢河崎まちづくり舞台」と名づけています。

- 1) 特定非営利活動法人伊勢河崎まちづくり会。伊勢河崎。近鉄文庫。2014(平成26)年2月
- 2) NPO法人伊勢河崎まちづくり会。伊勢河崎まちづくり運動年表資料。1974.7.7ヒタ水吉より2003.7.27川の駅オープンまで。2004(平成16)年11月31日
- 3) 特定非営利活動法人伊勢河崎まちづくり会。三重大学工学部建築学科浅野研究室。社団法人三重県建築士会伊勢支部青年部。河崎まちづくり協議会。まちづくりワークショップ記録ノート-河崎地区における景観形成の推進のための調査。2005(平成17)年5月3日
- 4) 河崎惣中・八人衆。特定非営利活動法人伊勢河崎まちづくり会。三重大学工学部建築学科浅野研究室。「伊勢河崎まちづくり手引き(案)」～町並みを守り、創り、育て、次世代に継承するために～「河崎町地区の歴史とまち並み保全を核とした景観形成推進事業委託」報告書。2006(平成18)年3月
- 5) 内城利光。附 河崎のまちづくり。「伊勢市史 第八巻 民俗編」, pp.751-767, 2009(平成21)年8月31日
- 6) 長尾正男。8ミリフィルムで撮った1979～1989年の河崎映像記録。2016(平成28)年 DVD化
- 7) 伊勢市教育委員会。河崎 - 歴史と文化 -。1983(昭和58)年3月1日
- 8) 伊勢市。伊勢市景観計画。2013(平成25)年1月30日改定
- 9) 伊勢市。伊勢市都市マスタープラン全体構想(Vr.2.0)。2016(平成28)年12月28日

編集制作：三重大学大学院工学研究科建築学専攻浅野研究室
協力：特定非営利活動法人伊勢河崎まちづくり会



准教授 M1 浅野 聡
浅野 聡
チンダガン
田垣 徳幸

図1 町並みパネル「第三幕：伊勢河崎のこれから まちの将来像」

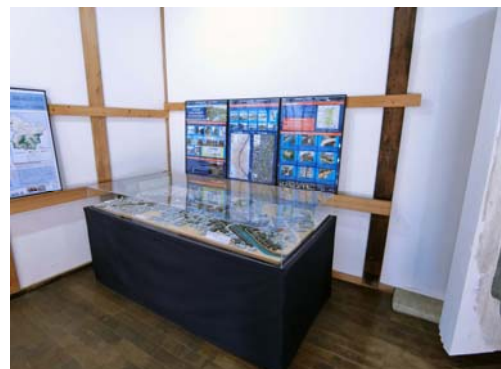


写真1・2 伊勢河崎商人館における展示の様子



図2 リーフレット「伊勢河崎まちづくり舞台」(表面・裏面)



図3 リーフレット「伊勢河崎まちづくり舞台」(中面)

④伊勢河崎「新・蔵くら談義XIV」における発表

平成31年3月24日に開催された伊勢河崎商人館における公開シンポジウム（伊勢河崎「蔵くら談義XV」）において、参加した地元関係者、伊勢河崎まちづくり衆等に対して、制作した町並みパネルとリーフレットについて発表し、参加者からは高い評価を受け、多くの方に関心を持って頂くことが出来ました。なお、本シンポジウムは、本学の伊勢志摩サテライトの後援として承認して頂きました。（図4）

伊勢河崎「新・蔵くら談義XIV」 平成30年度「手づくり郷土賞・大賞」受賞記念

『伊勢河崎・歴史文化を活かした協働のまちづくりの展望』

守る×活かす×育てる×創る×繋ぐ

日時 平成31年3月24日（日） 13:30～17:00

場所 伊勢河崎商人館 角吾座

報告 「手づくり郷土（ふるさと）賞 大賞」受賞

内容 研究報告 「伊勢河崎・まちづくり舞台」展示パネルリニューアル事業

基調講演 テーマ「使い続ける歴史的建物、持続する地域につなげていく」

講師 塩見 寛 静岡県ヘリテージセンター活用センター長

蔵くら談義 「歴史文化を活かした協働のまちづくりの展望」

コーディネーター 浅野 聡 三重大学大学院工学研究科准教授

コメンテーター 塩見 寛 静岡県ヘリテージセンター活用センター長

パネリスト 阿形次基 元伊勢市助役 旧御丸岡宗大夫邸保存再生会議会長

長尾正男 理事 伊勢ビデオサークル会員

村田典子 理事 伊勢河崎本通り活性化会議会長

千島孝弘 伊勢市タウンマネージャー

定員 70名（先着順）

参加費 無料（但し 商人館入館料 300円必要です）

●主催 NPO 法人伊勢河崎まちづくり衆

●協力 三重大学大学院工学研究科 浅野研究室
伊勢まちづくり株式会社
盤學館大学 CLL
伊勢河崎商家リノベーションプロジェクト
伊勢河崎本通り活性化会議
伊勢市 伊勢商工会議所
●後援 三重大学伊勢志摩サテライト

先人の知恵と手わざを伝え、
残し、伝え、育て、
引き継ぐ 町の誇り

図4 伊勢河崎「新・蔵くら談義XIV」（2019年3月24日）



写真3・4 伊勢河崎「新・蔵くら談義XIV」における発表の様子

(2) 地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与，広がり）

3年間に渡る地域貢献活動を通じて、伊勢河崎地区のまちづくりの歴史と現状についてわかりやすく来館者が理解できる環境が整備できたと判断しています。伊勢市景観計画では、河崎地区の景観形成の方針として、歴史的町並みの保全や勢田川との一体性に配慮した町並み形成などを位置づけていますが、今後、伊勢河崎地区の歴史的建築物の保存・活用や、歴史的環境の整備を推し進める際に、制作した町並み再現模型と解説展示パネル、今年度に制作した町並みパネルは、大いに役立つものと思われます。

また平成30年1月には、共同実施者である「NPO法人伊勢河崎まちづくり衆」は、「国土交通大臣表彰 平成30年度手づくり郷土賞（大賞部門）」を受賞（受賞案件：伊勢河崎・町並みと川を生かしたまちづくり）しました。本事業の申請者（浅野）も受賞者の一人であり、受賞案件の業績づくりに長年にわたり貢献することが出来たと判断しています。

(3) 共同実施者との連携状況

共同実施者である「NPO法人伊勢河崎まちづくり衆」とは、文献資料調査における関連資料の提供、現地における町並み調査の実施、町並みパネルの内容の検討と展示、公開シンポジウムの開催に至るまで、十分に連携することが出来ました。展示パネルはまちづくり衆からも高い評価を受け、大変に感謝をして頂いています。

(4) 大学の教育・研究成果のかかわり

今回のプロジェクトは、浅野研究室の大学院博士前期課程1年生の粟田悠斗、2年生の瀧本颯、チンダカン、田垣徳幸の諸君に取り組んでももらいました。大学院生にとっては、文献資料調査、現地調査、他県の事例調査などを通じた調査分析に始まり、町並みパネルの制作と展示、調査研究報告書の編集、公開シンポジウムにおける発表に至るまで、都市デザインや景観デザインについて実践的に研究する有意義な演習課題になったと判断しています。

(5) イベント等開催実績（名称，実施場所，参加人数等）

前述の通り、今回のプロジェクトの発表の場として、以下の公開シンポジウムを伊勢志摩サテライトの後援名義使用の許可も得て開催し、盛況となりました。

名 称：伊勢河崎「新・蔵くら談義XV 伊勢河崎・歴史文化を生かした協働のまちづくりの展望」

日 時：平成31年3月24日（日）

実施場所：伊勢河崎商人館角吾座（国登録有形文化財）

参加人数：約40名

(6) これまでの取組みによって得られた具体的な成果について

これまでの取組みによって得られた具体的な成果は、以下の通りです。

①伊勢河崎商人館の入館者に対する伊勢河崎地区の歴史・文化・景観に対するガイダンス効果が生まれていること。

②特に、現在のまちづくりを知る上で重要である昭和時代（戦後）～現在にいたるまちづくりの流れを年表としてまとめるとともに、伊勢河崎地区のま

	ちづくりに大きな影響を与えた七夕豪雨の発生とその後の町並み保全運動や伊勢河崎商人館の開館に至るまでの経緯について解説することにより、現在、展開している様々なまちづくり活動の背景と特徴について理解しやすくなったこと。 ③地元の公開シンポジウム場で、将来のまちづくりを検討する資料として活用され始めていること。
--	---

3 伊勢河崎商人館模型 ISE KAWASAKI SYOUNINKAN MODEL



＜伊勢河崎商人館模型＞
Ise Kawasaki Syouninkan model

平成11年から商人館を整備するため委員会が立ち上げられ、平成13年から平成14年に商人館の修復整備事業が進められました。また、平成13年には、商人館が国の「登録有形文化財」に登録され、文化財としての価値も認められる事になりました。そのような経緯を経て、伊勢河崎商人館模型は商人館の開館と同時に制作されました。

伊勢河崎商人館模型は、商人館を中心に南は勢田川、東は川の駅までの全体が把握できるものとなっています。

＜伊勢河崎商人館母屋＞

The main building of
Ise Kawasaki Syouninkan

伊勢河崎商人館母屋は商人館の中心的な施設であり、母屋には伊勢河崎を代表する商家の和室や京都の裏千家ゆかりの茶室があります。

＜河崎まちなみ館、角吾座、河崎厠＞

Kawasaki Machinamikan,
Kadogoza,Kawasaki umaya

河崎まちなみ館は伊勢河崎の歴史・文化の展示、角吾座は講演会やコンサート等のイベントを行う蔵となっています。

伊勢河崎商人館模型では、勾配屋根や庇の様子についても細かく再現しています。商人館を中心とした建物の模型は木で作成し、周辺の模型の色を商人館の模型の色よりも濃くする事で商人館の模型が目立つように工夫しています。



＜伊勢河崎商人館模型解説パネル＞

The panel for explanation about
Ise Kawasaki Syouninkan

伊勢河崎商人館は、複数の蔵や町屋からなり、各建物によって異なる役割を担っています。

パネルでは、様々な角度から見た伊勢河崎商人館模型の全体像や通りからの眺め、各建物の特徴や活用方法等を紹介しています。

HISTORY OF THE HISTORIC TOWN IN ISE KAWASAKI

伊勢河崎まちづくり舞台 ～伊勢河崎の歴史文化の解説と展示～



受賞案件
「伊勢河崎・町並みと川を生かしたまちづくり」
受賞団体
特定非営利活動法人 伊勢河崎まちづくり衆



伊勢河崎は川と共に発展してきました。そこで、勢田川の「川」という文字の3つの線を伊勢河崎の特徴を表す「地道」、「建物」、「川」のそれぞれの色で表現しました。浅野研究室では、伊勢河崎商人館の開館時から伊勢河崎まちづくりについて解説するパネルを「伊勢河崎まちづくり舞台」と名付けています。

本活動は三重大学地域貢献事業支援助成によって平成28年度から平成30年度にかけて行いました。

責任者：三重大学大学院工学研究科建築学専攻 准教授 浅野 聡 協力：特定非営利活動法人伊勢河崎まちづくり衆		
制作年度	活動内容	制作者（三重大学大学院工学研究科建築学専攻浅野研究室）
平成14年度	伊勢河崎まちづくり解説/パネル	佐藤 徳英 / 中田 千勇
平成16年度	伊勢河崎商人館模型	Hoyos Buchelli Luis Gonzalo/ 各務 明子 / 田村 悟 / 土屋 尊司 / 福田 剛史 / 堀内 勇輔 / 村上 明子 / 渡辺 亨
平成28年度	伊勢河崎町並み再現模型・再現模型解説/パネル	上田 拓矢 / 高田 直紀 / 忌部 光佑 / 高野 風人 / 瀧本 颯 / 長坂 昌紀 / 粟田 悠斗 / チン ダガン
平成29年度	伊勢河崎町並みパネル	瀧本 颯 / チン ダガン / 田垣 徳幸
平成30年度	伊勢河崎町並みパンフレット	瀧本 颯 / チン ダガン / 田垣 徳幸 / 粟田 悠斗

伊勢河崎は今でも歴史的町並みを残しており、現存する歴史的町並みを活用して、まちづくりを行っているまちです。これまでの伊勢河崎における歴史と景観を守り、まちづくりを行ってきた活動を紹介するパネルや模型を制作し展示しています。



編集制作：三重大学大学院工学研究科建築学専攻浅野研究室

協力：特定非営利活動法人伊勢河崎まちづくり衆

